

四国大 スポーツ分野など連携 大阪・滋賀2大学と協定

四国大と大阪成蹊大（大阪市）、びわこ成蹊スポーツ大（大津市）は1日、データサイエンスとスポーツの分野で協力し、教育研究活動の充実と地域社会の活性化を目指す包括連携協定を結んだ。

大阪成蹊大は本年度、データサイエンス学部を開設し、びわこ成蹊スポーツ大はスポーツ学部の中に「スポーツパフォーマンス分析コース」などを有している。社会のあらゆる分野でAI（人工知能）やデータサイエンスが活用されつつある中、そうした学部、学科がまだない四国大は、両大

の知見を共有し、デジタル人材育成やスポーツ技術の向上などを目指す。



大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・四国大学及び四国大学短期大学部との包括連携に関する協定締結式

包括連携協定を結んだ（左から）四国大の松重学長、大阪成蹊大の中村学長、びわこ成蹊スポーツ大の大河学長＝徳島市の四国大

連携・協力事項は▽授業の連携や単位互換▽共同研究や産官学連携活動▽学生の交流やスポーツ活動強化などの5項目。徳島市の四国大で締結式があり、大阪成蹊大の中村佳正学長、びわこ成

蹊スポーツ大の大河正明学長と、四国大の松重和美学長が協定書に署名した。松重学長は「データサイエンスを学び、スポーツ分野の分析、戦術立案などに活用できるよう連携していきたい」と話した。（伊藤典文）